



## 東村山・東大和稲門会 合同お花見会

坂口安吾に「桜の森の満開の下」という作品があります。満開の桜の妖しい、張りつめた美しさに出会うと、なんとなくウキウキし胸騒ぎがする我民族固有の深層心理をあぶり出した怪作です。物語によれば大昔、満開の桜の下は人を狂わせる怖ろしい所と考えられ人々は避けていました。庶民が桜の花の下に寄り集まり酒を飲んで陽気に花見を楽しむようになったのは江戸時代・徳川吉宗の治世からとの事。今年も桜は遅い遅いと言われていましたが、油断している隙に先回りしたように急に咲きだし、その神秘性を誇示しました。

東村山稲門会恒例の「お花見会」は東日本大震災のため2年ぶり、4月8日（日）都立狭山公園内の堤防の下で開催されました。朝方の風は少しひんやりしていましたがお花見日和の好天に恵まれ、遅いと言われた桜も八分は咲き十分楽しめました。午前11時當間副会長の開会宣言に続き、まず小亀会長が天災、地変、飢饉等により無常感に苛まれた鴨長明の方丈記を勉強し、改めて東日本大震災は皆で力を合わせ乗り越えなければならないと考えるようになったと力強く挨拶されました。風間元副会長の乾杯により、今年も多くの方々から差し入れられた豊富な銘酒、温かいおでん等、心のこもった手造りの料理による宴が始まりました。

今年特筆すべきは一昨年発足した東大和稲門会が我々に隣接して「お花見会」会場を設け「合同お花見会」の様相を呈したことです。参加者数東村山34名、国分寺3名、東大和25名の各稲門会計62名の大会となりまして。宴が進む中、東大和稲門会林会長、中西幹事長始め会員の方々が挨拶に来られ盃を酌み交わしたり小亀会長を筆頭に東村山会員が東大和会場を訪れるなど和気あいあいの交流がなされました。また中西幹事長から中国からの留学生チャーミングな女性2人、ハンサムな好青年2人の紹介があり日本語で通じないところは中国語（？）英語（？）でカバーするなどして大いに盛り上がりました。

楽しいひと時はアツと言う間に過ぎ、午後2時東村山・国分寺・東大和の参加者全員で一つの輪を作り、東大和の中西幹事長の指揮のもと肩を組んで早稲田大学校歌を高らかに歌い、エールの締めを中国からの留学生に送り、宴はお開きとなりました。

お開き後當摩副会長指導の下ゴミの分別収集を皆で行い、稲門会のお花見らしく会場を清掃し解散しました。東村山稲門会「お花見会」の出席者、差し入れを下さった方及び幹事の方等、ご協力を頂いた方を下記し、全ての皆様に感謝の意を表します。誠に有難うございました。

### ☆出席者（敬称略）

会員 33名+家族1

青山稔、赤荻洋一、阿部茂、石井久長、石塚征雄、一色泰久、井原徹、江藤昌明、大内一男、岡田一郎、小野智、風間和夫、小亀輝雄、小林傳、塩田典男、高橋正夫、高鷲近、月森通夫、土橋雄次、當間昭治、當摩彰子、當摩照夫、戸田志郎、豊田友吉、長井治、野田直（夫妻）、福田昇七、藤澤博恭、堀田秀夫、安田忠治、山下邦康、山本岩男、（倉田哲也）

ゲスト 3名

青木壯司（国分寺稲門会副会長）・同夫人幸子、吉田悦子

### ☆差し入れを下さった方

東大和稲門会、青木・吉田（国分寺）、江藤、風間、小亀、當間、當摩、戸田、野田、藤澤、福田

### ☆朝5時から場所取りをして頂いた方

岡田、小亀、當間、當摩夫妻（お開き後のゴミの最終的運搬も）、福田

### ☆買い物をして頂いた方

石塚、小野、當摩（彰）

（大内 一男 記）



62名の大パーティ



中国からの留学生にエール



## ○ 平成24年6月 定例役員会

日時 平成24年6月9日(土) 13:00~14:30  
場所 ふるさと歴史館 視聴覚室  
15時から雑学講座が行われます。

## ○ 第78回雑学講座

日時：6月9日(土) 15:00 ~ 16:30  
場所：ふるさと歴史館 視聴覚室

講師：竹貫征雄(たかぬき ゆきお)氏 (S41年商学部卒・元トア再保険勤務・現損害保険  
事業総合研究所再保険講師)

演題：「環境としてのイギリス」— あなたも英語が上手くなる

竹貫氏は損保会社勤務時代に合計15年にわたり英国に駐在した体験に基づき、知られざるイギリスの横顔やその際立った特色についてエピソードを含めて語っていただきます。会員の方々、是非ご家族も一緒に、また一般市民の方々共にお誘い合わせの上、ご参加ください。

## ○ 商議員・代議員の選出について

本年度は大学商議員・校友会代議員の改選の年になり、大学から当稲門会に各3人の選出の依頼がありました。役員会で下記の方々を選出しましたのでお知らせ致します。

商議員 小亀輝雄(役職上)、池田 孝、當摩彰子

代議員 當間昭治(役職上)、滝川桜子、大内一男

任期は2012年6月1日~2016年5月31日となっています。

## ○ 他稲門会関係

5月13日(日) 西東京稲門会総会 東伏見キャンパス79号館14時~  
小亀会長・當間副会長出席

## ○ 旅行会について

すでに3月号ニュースでご案内のとおりの内容で予定通り5月16日出発、草津温泉1泊で実施いたします。参加人数は20名です。

(高橋 正夫)

## ☆☆大学関連ニュース☆☆

## 2012年度入学式挙行

昨年は大震災により入学式が中止となりましたが、本年は4月1日に13学部の新入生10163名を迎え、記念会堂で4回に分けて行われました。鎌田総長は「学生時代は、自分の生き方を模索し、価値観を形成していく、人生で最も大切な時期です。新入生の皆さんは、早稲田大学教旨に謳われている建学の精神をかみしめて、主体的に、さまざまな機会を捉えて、できるだけ多くの経験を重ねながら、是非幅広く深い教養と豊かな人間性を育て下さい。そして皆さんが、やがては世界の平和と人類の幸福の実現に向けた新しい社会秩序を作っていく歩みの先頭に立ってくれることを心から期待しています」とお祝いの言葉を述べた。

## 第77回雑学講座報告

平成24年4月7日  
サンパルネ・コンベンションホール

## 「空気を撮る」

講師 野中昭夫氏 (会員 S32商)

1934年(昭和9年)、私は新潟県北魚沼郡小千谷町(現在は市)に生れ、ただ今77歳です。国民学校5年生で終戦を迎え、新制中学から高校を出るまでは変動する社会に追いついて行くだけの日々でした。

1953年早稲田大学商学部に入学することが出来た。牛込弁天町にある叔母の家から夏目坂を下り、大隈講堂の時計台を見ながら校内へ入る、嬉しい通学だった。憧れの角帽を被って。

2年の春、商学部の地下にあった写真部を覗いてみた。この扉を引いたことが自分の写真人生を決めたようです。

当時は35mmカメラが全盛で、写真の傾向はサロンピクチャーからリアリズムへと代わり、実生活、人間味のある作品が多くなっていました。

『写真は写すんでなく撮るんだ!』『自分が何を表現したいかを確認して、宇宙空間の一瞬を切り撮る!』これが早稲田大学写真部の伝統だ。私はこの世界に嵌まり込んでしまった。

幸いにして、1957年の春、新潮社写真部に入社。

前年創刊した“週刊新潮”で3年間、1960年から1999年まで40年間は月刊誌“芸術新潮”に在席しました。

週刊誌時代は巻頭グラビヤ「現代の顔」シリーズで相撲協会理事長となった時津風親方、映画「檜山節考」撮影中の木下恵介監督、ベストセラー作家松本清張、李香蘭から復帰し日本で活躍の山口淑子、「がめつい奴」を演出する菊田一夫等々多くの著名人と、事件などのドキュメンタリーの取材で多忙な毎日を送った。

芸術新潮に移り、対象が絵画・彫刻・建築・音楽・デザイン、さらに古美術・寺社風景・海外取材など広がって来ました。カメラマン二人で200頁程の雑誌一冊を埋めるのはかなりの苦勞です。それでも43年間の在社中、良い先輩、スタッフに恵まれ、素晴らしい方々とお会い出来たことを感謝しています。

1999年12月号『白洲正子全一冊』は正子先生が亡くなられて一年、創刊600号記念大特集でした。この記念号が新潮社のスタッフとしての最後の仕事となりました。以後はフリーランスの写真家としてやって居ります。

楽しかった嬉しかったエピソードを二、三紹介します。

‘太郎さんと一緒’ 岡本太郎先生と諏訪大社の御柱祭りに同行した時、曳行される御柱に上った半被姿の太郎さんはご満悦、祭りのクライマックス木落とし坂に着いてもしがみ付いて離れない。周囲の人達とやっと下ろすと先生は無然として発した一言が「祭りだ。死んで何が悪い。」

‘無愛想(武相荘)の温もり’ 英国での親友ロビンさんから送られたウイスキーを飲みながらテレビの黄門様を見て居られた白洲次郎さんが「ばあさんのこと頼むな。」といわれて奥へ行かれる。

料理などされない正子先生ですが、囲炉裏で鴨鍋をする時だけは、鍋奉行の座は誰にも譲らない。しつらえられた器も味も最高! 先生も御機嫌で冗舌でした。

‘エジプトの大先達’ 1978年のエジプト取材では若き吉村作治さんにお世話になりました。取材のコーディネートを始め、夕方遺跡で野犬に囲まれた時「円陣を組んで石を投げて対戦しよう。」との指示。ナイル河沿いの鳩料理屋でのこと、我等の御馳走を狙う憎っくき野良猫にはビール瓶を振り回し追い払う。など等エジプト流儀を御指導頂いた。

(野中 昭夫 記)

## 同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

## 俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第61回「稲酔」俳句会は4月28日(土) 午後2時から「丸藤」で開催しましたが、本号の原稿締め切り日の都合上報告が間に合いませんので、6月号で互選の結果等はお知らせします。

兼題「たんぽぽ」の句が数句本号「俳壇」に寄せられています。参会者からどのような評価を受けたか楽しみです。

第62回は「稲酔」俳句会は、6月23日(土) 午後2時から「丸藤」2階で開催予定です。詳細は次号でご案内いたします。

(稲雀 記)

## 早稲田妹<sup>°</sup>ーツを応援する会

世話人 大内 一男 TEL 393-6543

### 第1回早稲田スポーツを応援する会記（4月15日早慶レガッタ）

記念すべき第1回イベントとして「世界3大レガッタ」と言われる「第81回早慶レガッタ」を応援に行きました。実施日1週間前の募集にも拘わらず11名の参加を頂きました。

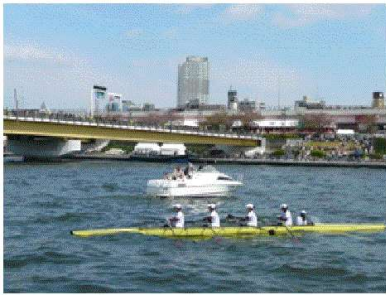
時折吹くそよかぜが心地良い好天にも恵まれ、集合場所の浅草雷門提灯前は人でごった返していました。定刻の12:30には全員揃い「西東京稲門会ワセスポを愛する会」様と合流、挨拶もそこそこに早速会場の墨田公園に向かいました。

応援する場所として隅田川言問橋の上流「桜橋」のもと、早慶両校の応援部・チアが勢ぞろいし応援合戦を繰り広げるメインスタンドのすぐ横に陣取った。「桜橋」の欄干付近は人が鈴なりで、中央付近で、はためく杉並稲門会の旗が印象的であった。眼前には東京スカイツリーがそびえカメラアングルとしてもベストポジションの位置である。

「早慶レガッタ」の勝負を決定する3レースの一つ、対校戦の女子舵手付クォドルプルは23連覇の記録がかかっており、のしかかる重圧があったが連覇を達成し「ワセ女」の強さを見せつけた。しかし残念ながら「ボートの華」エイトは慶応が意地をみせ対校エイト、第2エイトとも大差で勝利し早稲田の3連覇を阻んだ。メインスタンド前をウイニングランする慶応クルーに早稲田応援席からもお祝いの拍手、声が掛り改めて早慶の絆、スポーツマンシップの素晴らしさを感じたものです。

レース後アサヒスーパードライホールのカラオケで西東京・小平稲門会の皆様共々総勢28名で懇親会。レース観戦中は禁欲していたこともありアサヒビール本拠で味わう生ビールの味は格別でした。また藤澤先輩には何時もながらご配慮いただきカラオケでは有り難いサービスを受け参加者一同感心するとともに皆感謝しておりました。最後にホール入口で懇親会参加者全員による記念撮影を行い解散しました。

参加者：青山稔、阿部茂、石塚征雄、大内一男、小亀輝雄夫妻、滝来洋二、福田昇七、山本岩男、  
吉澤勇、吉澤雅子 (大内 一男 記)



### 春の早慶戦（6月2日）のお誘い

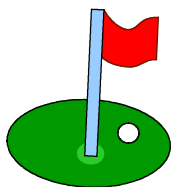
第2回早稲田スポーツを応援する会例会のご案内。東京六大学野球リーグ戦において、岡村監督就任1年目の昨年の春は5位に甘んじてしまいましたが、秋は4期ぶりに慶応から勝ち点を挙げ2位に浮上しました。昨年の夏の甲子園優勝投手日大三高の吉永投手の入部、斎藤佑樹を擁し同じく夏の大会を制覇した時に一年生ながら出場していた早実の佐々木が大学4年になり主将となり戦力の充実とともに話題も豊富な春のリーグ戦です。球春です、早慶戦応援に行きましょう。

日 時 : 6月2日(土)  
 集合時間 : 11:30  
 集合場所 : 神宮球場6番ゲイト前  
 チケット代 : 1300円(ゲームと応援合戦の両方を観戦出来る特別指定席をご用意の予定です。)  
 雨天中止 : 問い合わせは当日午前7時より世話人まで。  
 懇親会有 : 現在予算3,000円~4,000円でお店を調査中。  
 申込期限 : 5月23日(水)チケット確保のため期限厳守の上、下記世話人までお申し込みください。  
 懇親会参加の有無も合わせてご連絡ください。

☆世話人 小亀 輝雄 (394-6951)  
 大内 一男 (ohuchi6\_7kzytmsk@aurora.ocn.ne.jp)  
 (090-4836-5886)

## ゴルフ同好会

世話人 石川 武 TEL 394-4702



### 紅松 喬さん連続優勝！！第31回同好会コンペ結果

天気予報は大雨・強風。中止をせざるを得ないかと、夜半から気を揉んだ3月24日。そうです。今日はゴルフ同好会年2回の定例コンペ。しかし、至誠天に通ず（ちょっと大げさですね）、雨もなく、無風状態で、むしろ絶好のゴルフ日和といった天候のうちに、スタート時間と相成りました。途中から、小雨模様になりましたが、この程度の雨は、自然の中でプレーするゴルフでは、全く問題無し！

今やゴルフ同好会のホームコースとも言える地元西武園ゴルフ場アウト1番を勇躍スターとしたのは、次の4組・16名の面々。

第1組	紅松 喬	吉田 勝	石川 武	登籐 央子
第2組	津野 慶浩	益田 昂	山本 岩男	月森 章子
第3組	滝来 洋二	福田 昇七	鍋島 高明	吉田 誠子
第4組	堀田 秀夫	井垣 和太	関 一誠	紅松 容子

「今日のカップ位置はとっても難しかった！！」そんな声も多く聞かれた、雨対応のグリーン。ベテランが多く揃っている我が同好会の面々でも、手古摺るホールも数多くあり、ゴルフの醍醐味、あるいはその難しさを味わいつつ、全員が無事ホールアウト。

終わってみれば、前回に引き続き紅松 喬さんがネット73.8の成績で優勝。準優勝はベテラン津野慶浩さん。第3位には、腰痛に苦しみながらも実力を発揮した益田 昂さんが入られました。そして筆者などは、全く違う世界の話として遠く仰ぎ見るだけのベストグロス賞はアウト・インそれぞれ43で回った滝来洋二さんが獲得。

いや～あ！ゴルフって、どんな成績で上がっても、終わってみれば、また次を早くやりたいと思うスポーツですね。

さて、次回は9月の上旬を予定しております。場所も、西武園ゴルフ場。具体的な日程が決まりましたら、稲門会ニュースでお知らせいたします。一人でも多くの方々、特に今までゴルフ同好会にご参加されていない方をお待ちしています。

近いゴルフ場で、心を許した面々と、楽しい1日を過ごそうじゃありませんか！！

## テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



3月の例会日と予備日、4月の例会日と3回続けて雨でプレーが出来なかったが、予備日の4月20日（金）に漸くプレーをすることができた。

場所は久米川コートの3番、13時より15時まで、曇りであったが寒くはなく、5名の参加者が白球ならぬ黄球を必死に追い続けた。

ウィークデイなので心配していたが、皆さんが何とか都合をつけて参加してくれた。

高橋さんは目の手術を経て、久しぶりに参加したが、相変わらずの強いショットですっかり回復の様子、また、市川さんも久しぶりであったが、次第に持前の粘り強さを発揮し健在であった。

今年の合宿のこと等も話題になった。

参加者（敬称略） 市川彰、高橋一、野田直、福田昇、田島

## カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



4月の例会は桜は咲き始めたが寒さに震える7日に開催。一曲毎に皆で色々批評し合い、次に歌う時に参考にして高得点を目指して居ります。

当日の参加は井垣、井手、高鷲、高橋、内藤の5名で楽しい一夜を過ごしました。

（今後の予定）

5月12日（土）19：10 カラオケランド ズー  
6月 9日（土）19：10 カラオケランド ズー

## ウォーキングの会

世話人 阿部 茂 TEL 332-0298



初夏の海辺散歩を企画しました。申し込み等不要ですので、ご都合のつく方はお気軽にご参加ください。

## 第31回ウォーキング 「レインボーブリッジからお台場」

レインボーブリッジを歩いてわたり、お台場付近を歩きます。

車で通るとあっという間ですが、歩くと結構歩きがいがありそうです。お台場近辺には公園が整備されており、初夏の潮風を受けながらの散歩が楽しめそうです。歩行時間は2時間くらいと思いますが、現地のレストラン等で昼食をとる予定です。

日時 : 5月27日(日)

集合場所と時間 : 東村山駅、西武新宿線上り線ホームに9時集合

コース : 東村山駅→芝浦ふ頭駅(ゆりかもめ)→レインボーブリッジ→お台場公園→お台場海浜公園→潮風公園→お台場海浜公園駅(ゆりかもめ)  
時間によっては船の科学館等、見学します。

その他 : 空模様が怪しい場合は朝8時までに阿部までご連絡、ご確認ください。

## 第30回ウォーキング記 (3月25日)

東久留米駅から黒目川を下流に歩き、さらに落合川を上流に歩くコースで、豊かな水量ときれいな水にビックリ。空堀川とそれほど離れていないのになんでこんなに違うのか不思議です。黒目川では前回ウォーキングに続き、カワセミが見られました。

落合川を途中で左折し竹林公園に立ち寄り、竹林の下に湧き水が池を作って落合川に流れ込んでいます。後で知りましたが、竹林公園は新東京百景に選ばれているそうです。

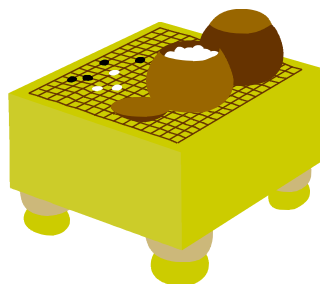
さらに落合川をさかのぼり、南沢緑地へ。東京都水道局(取水し、水道水として利用している)の下へ行くと、あちこちから湧き水が池をつくり、落合川に流れ込んでいました。

黒目川にしる落合川にしる、この大量の地下水がどこから運ばれてくるのか、まったく不思議です。南沢緑地の近くの氷川神社にお参りしてから東久留米駅に戻りました。

総勢17名で今回も盛況でした。

参加者 : 青山・阿部・飯塚・井出夫妻+お嬢様・大内・小亀夫妻・滝来・土橋・額田・町田・山本・吉澤夫妻・吉田 (敬称略)

## 囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593  
高 鷲 近 394-2336

●「第24回東村山稲門会囲碁大会」が4月21(土)、12時15分より、いつもの市民センター別館で開催されました。

今回は13名の会員が参加され、A、B、Cの3グループに分かれて総当たり戦を行いました。その結果、Aグループは堀田さん、Bグループは野村さん、Cグループは江藤さんが優勝しました。江藤さんは、これで待望の初段となります。また、今回が初参加の塩田典男さんはCグループで貴重な白星をあげられました。

<参加者/敬称略> Aグループ…福田(晃)・堀田・佐久間・高鷲  
Bグループ…野村・丸本・高橋(鶴)・八木  
Cグループ…江藤・塩田・中川・一色・杉山

○次回の「例会」は、6月16日(土)を予定しております。詳しくは、次回の「稲門会ニュース」でご案内します。

## 園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 396-3033



園芸の会では4月19日に恒例のさくら草の鑑評会を行いました。1月末に植えつけた芽を大事に育てて開花させた鉢を持ち寄り、いつものように品評会。今年も寒かったり急に暖かくなったりで不順な春でしたが、それでも腕と愛情で素晴らしい花が咲きました。人気投票の結果、1位當間さん、2位土橋さん、3位福田さんと決まりました。皆さん、本当にご苦労様でした。次回の園芸の会は、下記の日程で、春蒔き草花の苗の交換会です。いろいろ新しい種類にも挑戦して、是非多くの方の参加を期待いたします。

日時 平成24年5月11日(金) 午後3時～5時  
場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

## 「保守とは何か」

堀田 秀夫 (S45文研)

私は生まれながらにして「つむじ曲がり」であったようです。貧しい商家の息子が大学に行って勉強する、しかもよりによってロシア語を学ぶなどということは、道楽の最たるもので、親はスッカリあきれ返って見離してしまいました。先頃まで務めていた早実の教職員にも、現在息子たちにも変わった人間だと思われております。何しろ皆さんが右と右だと思っても、本当にそうだろうか、ひょっとして左ではないかと考えて、実行してしまうのです。私が卒業したのは昭和34年ですから、安保闘争真っ只中にまさに激動の時代でありました。文芸評論の授業を担当した青野季吉(1890～1961)は、『今日は国会デモ行進がありますので、授業はいたしません。デモに参加して下さい』と、宣告しました。高校時代敗戦後貧しい時代の面影が残っておりまして、まだ社会主義とか、共産主義とかが人々の心を捉えていたもので、『資本論』やソ連製の解説書を読んでおりました。ところが、西洋史専修の卒業論文では保守主義を研究し、それがヨーロッパの文明史観に影響を与えていたことを書きなぐったのであります。安保闘争は終わっていましたが、まさしく左と右のつむじ曲の最たる対照であります。ところが、時の総長大浜先生はこの卒論に学術賞(小野梓賞)を与えるとしたのですから、驚きました。何しろ、学術ではなく本能のおもむくまま、つむじ曲がりを書いたのですから、頂戴していいものかどうか、しばし考えてしまいました。

ヨーロッパで保守主義が思想として確立したのは、フランス革命とナポレオンのヨーロッパ支配が終焉してからでありまして、その鼻祖は、スコットランド人の政治家・論客エドムンド・バーク(E.Burke 1729～97)であります。保守と申しますと、すぐ反動と結び付けられ、『保守反動』と批判の対象とされてしまいますが、これ全く誤った考えであります。簡単に言えば、個を尊重する思想でありまして、現在我々良識人が日常考え実行していることに過ぎない極めて健全な考え方でありまして、ヨーロッパやアメリカでは、政治政党の基本的な理念なっているくらいであります。食うや食わずの貧しい時代に、個人の自由とか、人権とか尊重できるわけがありません。平等を尊び、『向こう三軒両隣』。なけなしの物を互いに分かち合わなければ生きていけないのです。共産主義的生存が必要であったのです。だから、共産主義は『赤』で悪であるなど、直感してはならないのです。時代とともに生産性があがり、十分食べていける時代になりましたので、個性の尊重、自由が許され、また、それを主張できるようになりました。そこに成立したのが保守主義思想であります。保守は過去を振り返り、現在問題になっている事項を検討し、その解決を見出し、改善しようとするのですから、実は、大変な革命思想なのであります。変革を考えない保守主義者はまさしく保守反動の輩であります。

近年、また、最近の世界の各地に起こってきた現象を見ますと、このことをよく証明しております。ソ連の社会主義体制が崩壊したのも、今またロシア人が資源により豊になって、プーチンの権力政治に痛烈な批判を浴びせているのも、豊になり個人の尊重や自由を叫ぶことができるようになったからです。『存在は意識を規定する』というマルクスの指摘が当たっているのです。また、お隣の中国でも世界第二の経済大国になり、共産党体制は名ばかり、ひょっとすれば、実質最たる資本主義体制になりました。ですから、個の主張が盛んになり、未だに政治権力を独占している共産党への痛烈な批判が深く浸透しているのです。イスラムの国々でも豊かさが独裁体制に痛烈な批判を加え、崩壊に導いていったのです。

学者は難しく理屈を並びたてるのですが、真理は単純にして明瞭なのです。あのイソップは『童話』の中で北風(力)と太陽(豊かさ)にたとえて、真理を語っているのです。機会があれば、いつか保守とは何かということを講演したいと思っております。

同好会等 短期予定表											
同好会・行事	5月					6月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	27	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		阿部 042-332-0298
郷土史の会	—	—	—	—		*	*	*	*		江藤 042-391-4076
テニス同好会	26	土	9:00~11:00	運動公園A		10	日	11:00~13:00	久米川コート3		田島 042-396-7676
	—	—	—	—	予備日	17	日	11:00~13:00	久米川コート3	予備日	
囲碁同好会	—	—	—	—		16	土	13:00~	市民センター別館		高鷲 042-394-2336
カラオケ同好会	12	土	19:10~	カラオケランドズー		9	土	19:10~	カラオケランドズー		内藤 042-393-5071
園芸の会	11	金	15:00~17:00	市スポーツセンター		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		24	日	13:00~	イトーヨーカドー隣サロン園		小野 042-391-9523
音楽同好会	*	*	*	*		*	*	*	*		高橋文 042-393-2676
俳句同好会	—	—	—	—		23	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川 042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		2	土	11:30	神宮球場6番ゲイト前		大内 042-393-6543
旅行同好会	16	水	8:00	東村山駅東口ロータリー前		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
雑学講座	—	—	—	—		9	土	15:00~16:30	ふるさと歴史館		當間 042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し \* : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。



編集局だより

○今年のお花見会は東大和稲門会との合同で盛会だったようですね。その報告で大内氏は坂口安吾の作品を取り上げていましたが、桜という私は梶井基次郎の「櫻の樹の下には」を思い浮かべます。人にはそれぞれ思い入れの作品というものがあるものですよ。ところで桜に関して今年ひとつの発見がありました。それは新幹線の車窓風景です。今まで桜が見頃な時に帰省する事は減多になく、いや記憶ではほとんどないのですが、たまたま今年用事で帰省した折り、満開の桜を楽しむことが出来ました。知らなかった。こんなに沿線に桜が咲いているなんて！ ゴールデンウィークやお盆、お正月といった限られた時での帰省では桜の木には気が付かないものです。見慣れている風景がひときわ美しく見えたのは桜の魔力なのでしょう。やはりすごいです。

○次号の原稿締め切りは5月25日(金)です。よろしく願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

陽にぬくもつ幸にタンポポちらほらと  
 内藤 慎  
 髪飾る一片の花春うらら  
 丸本 北窓  
 来ぬ事を知るか知らずか桜咲く  
 八木 竜湖  
 パンジーや補色の粹をほこりたる  
 たんぽぽに月のあかりの忍びやか  
 栗島 三郎  
 かたまって董や己が色なせり  
 綿菓子顔して二つ春の雲  
 井垣 稻雀  
 五分咲きもつぼみの下も花の宴  
 養花明治の文士みな貧し  
 出田 麦穂  
 古草の新しがりを疎まれる  
 会うことのもはやなき人花筏  
 菊田 一平  
 花の雲集い別れし旧校舎  
 あたたかし金魚と云へばマチスの絵  
 幸田 瑞雄  
 糞ひとつ落として鳥の恋終はる  
 屋の寺蛸蚪ひつそりと沈みおり  
 雪柳垣に溢れてこぼれけり  
 小亀 稻生  
 朝まだき花筵敷く人ありて  
 小永井 哲哉  
 滑り行く早慶レガッタ水脈光る  
 たんぽぽやのんきな羅漢さまも居て  
 秘宝展落花と入る自動ドア  
 高部 糸行  
 賑やかにおやつ分け合い春うらら  
 白藤の天に向かつて咲き始め